



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 4 月 3 日(土)
木エプロジェクト第2弾・スツール完成！！ 編

早く完成させたいという皆さんの熱い思いに応えて、またも札幌から小泉先生がおいで下さいました。この日の受講者は7名と前回(こんなことあったよ！平成22年2月27・28日参照)に比べて少し寂しかったですが、山谷公民館で仕上げ作業に取り組みました。

前回、時間と材料切れで終わっていた座の編み上げは、石川さんに仕上げていただいた木高研チームを除き、各自持ち帰って宿題を終えられていましたので、早速、亜麻仁油を塗り始めました。これは、座面の耐久性をあげたり、汚れを防止するためです。油が面白いようにしみ込んで濃い色に変わっていきますが、乾くと若干白っぽく戻ります。

乾くまでの間、2階の部屋で椅子材料に適した樹種、接着剤、塗料についての補講がありました。また、製材を使わずに生材丸太から加工する greenwood working や山で小径木を採集してきて使う rustic furniture の方法や可能性についてもお話いただきました。最後に、木部にノーマルクリアのオイルを塗って布で拭き取り、初挑戦の編み座スツールが完成しました！美しい上に、とても軽くて扱いやすいです。

ときめき隊では、子どもたちと広葉樹の植樹をしています。かつては、里山の雑木林は、炭用の木材やシバなどを随時採取することで更新されてきました。そのような使い方の一つとして、椅子づくりが出来ないかと考えています。また、各人が常盤の山の材料で作った椅子が、まちなかのイベントでは、みんなが使う椅子としてお披露目していけたら楽しいのではないかと思います。

カヌーに負けず劣らず、今回も皆さんのツポにはまったようで、身近な木材を使ったものづくりの楽しさを広めて行きながら、地域活性化につなげればと改めて思いました。山があり、熱心な市民がいて、木高研がある、当地ならではの事業展開を今後も模索していきたいと思ひます。

文： 渡辺 千明



まず初めに、資料に沿ってこの日の作業の流れの説明がありました。



座面に亜麻仁油をタツブリと塗っていきます。その姿勢、ガラスの腰に非常に悪そうです。膝を曲げないと！



分校の木製椅子を使って、各部分への力のかかり方と作製のポイントの説明もありました(上)。

拭き取り仕上げをして完成です(右)。



先生や石川さんのおかげできれいに仕上がった木高研チームのスツール。次回は背もたれつき椅子製作とどこでどのような樹種が集められるか山歩きです。小泉先生、この先もよろしくご指導下さい。